

市指定文化財<史跡>

ますながじょうあと
増永城跡

指定日 昭和49年4月1日

所在地 菊池市七城町砂田 西郷



別名を西郷城ともいい、西郷区の若宮神社の境内を中心とした一画にある。

菊池初代則隆の子政隆が城を築き、西郷氏を名乗って以降代々この地を本拠として菊池氏に仕え行動を共にした。

この城は前面に迫間川を擁し、^{よう}台、^{うてな}正光寺城と提携して鹿本方面からの侵入に備えた城である。遺構としては敷地内に井戸跡、土塁跡が見られる程度で、城主の名が集落名として残り、更にその末裔は鹿児島に趣いて明治維新の英雄西郷隆盛を生んだ。神社の境内の一画に、「西郷南洲先生祖先発祥之地」という大きな自然石の碑が建っているが、これは徳富蘇峰の筆による。

この城の鎮守社と思われる羽根木八幡宮、西郷若宮神社は創立が古く、八幡宮は菊池初代則隆、若宮神社は政隆の勧請とされる。